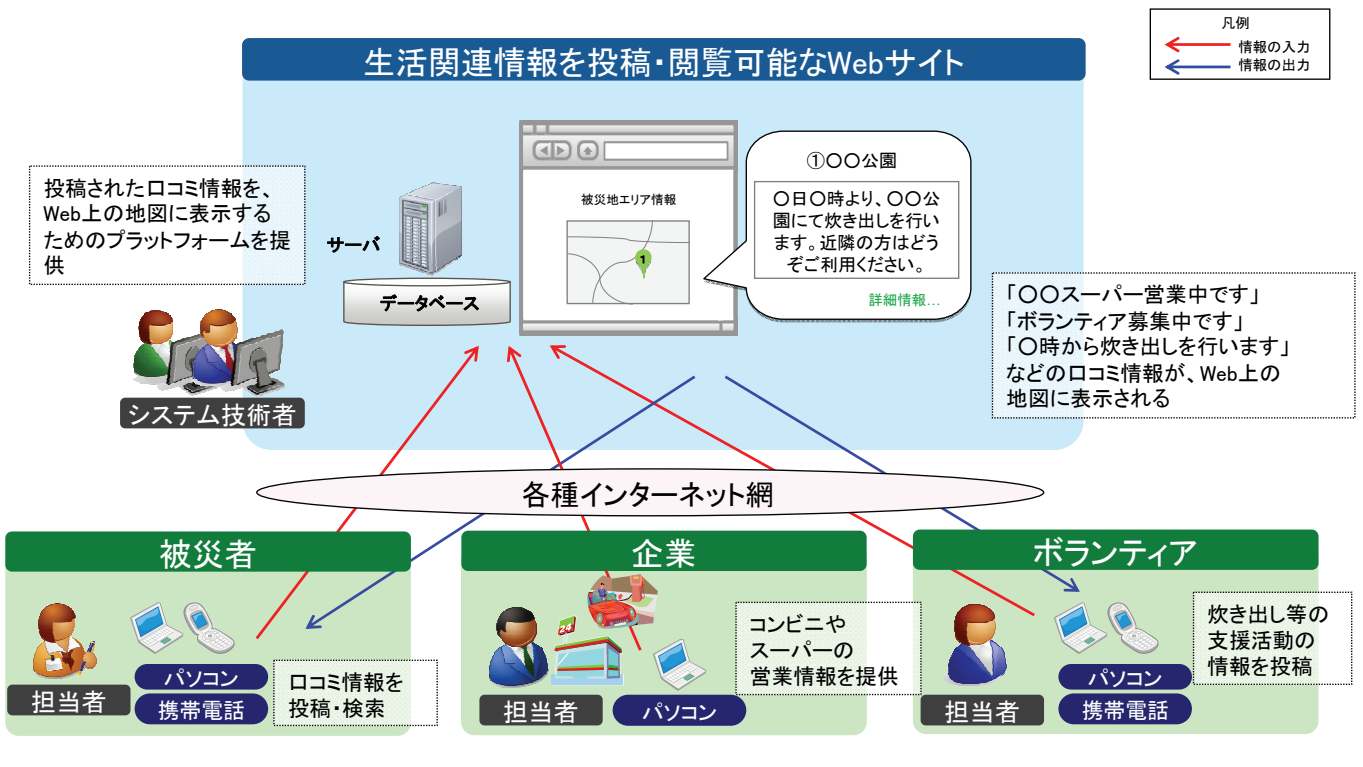


事例10 生活関連情報の収集・提供

被災地エリアガイド

被災地救援ぽーたるまっぷ

■ 多様な主体から提供される生活関連情報を収集・整理し、地図上に表示するWebサイト



解説

1) 背景・ニーズ

物流網や商業店舗が被災すると、ガソリンや食料といった日常生活に必要な物資が不足しますが、テレビやラジオによる生活関連情報の提供には、情報量や提供のタイミングの面で限界があります。必要とするものをいつ、どこで手に入れられるかについて、住民が容易に知ることができる仕組みが求められます。

2) 事例の概要

- 物資・サービスの供給場所・時間等に関する様々な口コミ情報がWeb地図上に表示されます。
- 「被災地エリアガイド」(ヤフー株式会社)では、「避難所情報」「給水情報」「ガソリン在庫情報」「店舗の営業情報」「医療機関の診療受付情報」などについて、多数の口コミが投稿されました。特に大手コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの営業情報については、毎日の予定が企業から直接提供され、最新の情報が地図に反映されました。
- 「被災地救援ぽーたるまっぷ」では、Googleマップ等をベースに各ボランティアが作成した炊き出し情報や銭湯の営業情報など10種類以上の地図が、統合・一元化されて公開されました。

事例のメリット

○様々な情報を検索できる

様々な生活関連情報が一つの地図に一元的に表示されるため、求める情報を容易に検索することができます。

○情報の発信が容易にできる

個々人が持っている情報でも、インターネット上に公開されることで多くの人と広く共有することができます。

活用に向けた留意点

より多くの人・団体に利用してもらえよう、サービス自体の認知度を高めることが求められます。また、古い情報が掲載されたままとならないよう、投稿者は、可能な範囲でこまめに情報を更新することが望まれます。